# 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた施策の取組事例/北海道開発局

# 交通・物流・生産空間の取組

### <「道の駅 |を活用した次世代自動車普及促進>

次世代自動車の普 及を促進するため、 国·北海道·自治体、 管理者と連携し、全 ての「道の駅 IへのE V急速充電器設置 を促進。



ドライブ観光中に「道の駅」で充電する 次世代自動車(道の駅「もち米の里☆なよろ」)

### <農地の大区画化>

農地の大区画化等により、自動操舵トラクター等のスマー ト農業の効果的利用を可能とし、農作業時間の短縮を 通じてCO2排出量の削減にも寄与。





#### <道路ネットワーク整備>

- ・CO2削減に大きく寄与する道路ネットワークの整備、渋滞 対策等を推進。
- ・今後5か年で開通予定の直轄国道におけるCO2排出削 減効果は約6万トン/年。

#### <自動運転・MaaS等を活用した取組を支援>

・道の駅を拠点とした自動運転の検討やMaaSの実証実 験等、関係機関と連携して社会実装への取組を支援。

### <港湾の整備>

石狩湾新港において、大型 船に対応した岸壁整備、泊 地の浚渫等、国際物流ター ミナルの整備を推進。これに より、大量一括輸送が可能 となり、CO2排出量が削減。 バイオマス発電所(R4.8稼 働予定)への発電燃料(木 質ペレット、PKS)の安定供 約30000DWT船 (現状は水深 給にも寄与。



の制約により満載で入港出来ず)

# インフラ施工段階での取組

#### <i-Construction>

・建設施工段階において、測位技術・センサー・通信技術等 を組み合わせることで施工の効率化を図り、建設機械から のCO2排出量を削減。





ICT建設機械での切土法面の掘削状況

# <環境家計簿によるCO2削減量の見える化>

受注者と発注者が協働でCO2排出量を"見える化"する環 境家計簿に取り組むことで、丁事現場におけるCO2削減活 動の促進及びCO2削減意識の向上を図る。

# により、消費電力量を削減し、CO2排出量を削減。

インフラの改修による省エネ化

・道路照明灯をLED化するとともに、設置間隔を広げること



<道路照明灯のLED化>



国道231号 濃昼トンネル (石狩市)

釧路湿原取組内容

# グリーンインフラを活用した取組

#### <釧路湿原>

・湿原は、温室効果ガス であるCO2を吸収する ため、湿原の保全・再 生は地球温暖化対策 にも貢献。



# インフラの維持管理の過程で生じる伐採木等の活用

### <河川維持による河道内樹木の伐採木・堤防除草 による刈草等のバイオマスエネルギー等への活用>

・バイオマスタウン構想を推進する鹿追町と連携し、堤防除

北海道水素地域づくりプラットフォーム

草で大量に発生する刈草をバイオガス発電の原料として使

用し、CO2排出量削減や地域の循環型社会形成へ寄与。

・石狩川では、伐採木を活用 する事業者を公募。R2年度 の申請事業者はバイオマス 発電に活用し、約7,600戸 の年間使用電力量を供給。



公募申請者がチップ化・運搬・発電

# <道路排雪の冷熱エネルギーとしての利活用> ・冬に国道の排雪を集積しておき、夏に周辺施設(米籾貯

蔵施設、養護老人ホーム等)の冷熱エネルギーとして利活 用を推進。







# 官庁営繕におけるZEB化の推進

・庁舎新築にあたり、太陽光 発電設備の設置、外断熱 丁法の採用、 積極的な木 材利用等を実施。

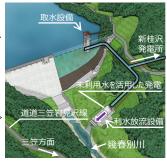


# 小水力発電・太陽光発電施設の導入

# <ダムの未利用水を活用した小水力発電>

新桂沢ダムでは、河 川環境を維持するた めの放流水を活用し、 河川管理者と発電 事業者が連携して 新たな小水力発電 の導入を推進。

新桂沢ダム▷



# <農業用水を活用した小水力発電>

・老朽化した農業水利 幹線用水路 施設の改修と併せ、 用水路等の落差を利 用した小水力発電施 設の導入を推進。

当麻永山用水地区▷



# <河川防災STへの太陽光発電設備の設置>

・河川防災ステーションに太陽 光発電設備を設置し、再生 可能エネルギーの導入を促進。



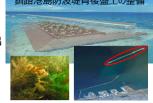
# <ブルーカーボン生態系の創出>

- 人工リーフの整備にあた り、水産生物の生息に 配慮し、水産協調型ブ ロックを使用。ブロックに 海藻類が付着・生育し、 CO2を吸収・貯留する 海藻類の育成環境に。
- 防波堤等の整備にあた。 り、従来の防波堤機能 に加え、水深の浅い背 後盛十上で藻場を創出 することにより、CO2の 吸収源としての効果を 発揮。



における

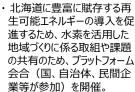
人工リーフ



## <タンチョウも住めるまちづくり(遊水地)>

・千歳川では洪水時の被 害の軽減を図るため遊 水地群を整備。舞鶴遊 水地では、遊水地内の 多様な機能を活用し、 生態系ネットワークを構 築する取組を推進。







鹿追町環境保全センター